

長く暑くなるばかりの夏と、短くなるばかりの夏休みが終わり、たちまち肌寒くなって参りました。せめて秋晴れくらいは心地よく続いて欲しいと願っています。

11月下旬には、あらたに中国四国九州ジョイス研究会が発足します。既存の関東ジョイス研究会、関西ジョイス研究会、Dubliners 研究会に加えて、ジョイス協会にとっては大きく分けて4つ目の研究会になります。下記のお知らせをご覧ください。

Joycean Japan の締め切りも迫っております。どうぞよろしく御協力ください。

#### Topics

- Joycean Japan 第24号 投稿のご案内
- 第25回大会 研究発表者募集のお知らせ
- 研究書誌情報のお願い
- コラム：Dubliners 研究会活動報告（小林広直）
- 中国四国九州ジョイス研究会発足について

## Joycean Japan 第24号 投稿の御案内

例年通り、査読対象論文の投稿締切は11月30日(消印有効)となっております。今年の第24回大会で口頭発表された方々はもちろんのことながら、それ以外の会員からの投稿も受け付けております。

#### 論文投稿規程

1. 投稿資格は、会費を納入している会員が有する。
2. 字数・書式。日本語の場合、14,000字以内(タイトル・註などを含む)。英語の場合、半角で28,000ストローク以内(タイトル・註などを含む)。双方とも、半角で2,400ストローク以内の英文サマリーを添付のこと。  
書式は、『MLA 英語論文の手引き』(北星堂)の最新版に基づくことを原則とする。
3. 11月末日までに、事務局に郵送すること(当日消印有効)。添付ファイルによる提出は認めない。なお、デジタル情報を同時に提出する必要はないが、採用された論文については、後日提出が求められる。
4. 著者校正は初校のみとする。

なお、第24回大会の「シンポジウム」で発表されたみなさんの報告原稿は、原則2月末日(消印有効)を締め切りとさせていただきます。それぞれのオーガナイザーには、原稿の取り纏めをお願いいたします。(ご質問は事務局までお願いします。)

# 第25回 日本ジェイムズ・ジョイス協会 研究大会

## 研究発表者募集のお知らせ

第25回研究大会は、2013年6月15日（土曜）、京都大学・文学部で行われます。  
会場・プログラムの詳細は4月のNewsletterでお知らせいたしますが、内容は（1）研究発表、（2）シンポジウム、（3）*Finnegans Wake* workshop、となる予定です。  
ついては、（1）の研究発表者を募集いたします。

**発表を希望される会員は、800字程度の発表要旨を添付のうえ、12月末日までに事務局へお送りください。E-mailでのお申し込みも受け付けております。**

発表時間は20～25分、質疑応答は10～15分程度を予定しております。  
お送り頂いた発表要旨は、2013年1月に行われる常任委員会での査読を経て、採用が決定されます。（司会者もこの常任委員会で確定します。）要旨査読通過者は、5月中に、司会者宛て発表原稿をお送りください。  
応募者の方への詳細は追って御連絡いたします。

## 研究書誌情報提供のお願い

昨年発行の *Joycean Japan*, No.22 には、2003年から2011年の研究書誌を掲載しました。その後さらにいくつかの追加情報をお寄せ頂きましたが、今年の No.23 には書誌のページをもうけませんので、次号 No.24 には是非掲載したいと思えます。

2011年以降の著書・論文はもちろんのこと、それ以前のものでも構いません。*Joycean Japan* のバックナンバーに未だ掲載されていないものでしたら、どうぞご遠慮なくお知らせください。

○雑誌掲載論文の場合

- ・ 著者名
- ・ 論文名
- ・ 掲載誌（発行元）および号数
- ・ 出版年・月

○単行本の場合

- ・ 著者名
- ・ 書名（共著書の場合は、主要著者もしくは編者名、および「執筆章題」）
- ・ 出版社
- ・ 出版年・月

上記を記載のうえ、e-mailにて事務局アドレスまでお送りください。メールのタイトルは「JJ 掲載用書誌情報」として頂ければ幸いです。もちろん、ハガキ・封書でのお知らせも承ります。

## Dubliners 研究会活動報告

小林 広直

今年7月に来日され、ジョイス協会でも講演をしてくださった Derek Attridge 氏は *How to Read Joyce* (2007)の「序」で、ジョイス作品の「難解さ」と「豊潤さ」を挙げ、「再読すること」と「グループで読むこと」の意義を強調されています(8)。ともするとわたしたち研究者は、目先の論文や発表に追われて、ジョイスのテキストそれ自体よりも先行研究に多くの時間を割いてしまいがちですが、ひとつの作品、語り、ことばについて、ゆっくりと時間をかけて考えられるという機会は、非常に豊かで得難い経験だと思います。

*Dubliners* 研究会は、2009年10月に事務局主催で発足し、ほぼ2ヶ月に1回のペースで開催されています。土曜日の14:30~18:00、会場は主として「専修大学サテライトキャンパス」(小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩1分)を利用しています。遠方から飛行機や新幹線を使って参加される方も多く、某先輩曰く「日本で最も活気のある読書会」とのことですが(異論があるかもしれませんが)、私自身、終わった後の反省会(飲み会?)も含めて、本当にたくさん勉強をさせていただいています。

本研究会で活発な議論が交わされるひとつの要因は、「文献リスト」が Excel で随時更新され、参加者全員に共有されている点にあるかと思います。初期の Clive Hart 編 *James Joyce's Dubliners* (1969)や Warren Beck の *Joyce's Dubliners* (1969)をはじめ、Margot Norris の *Suspicious Reading of Joyce's Dubliners* (2003)や Gerald Doherty の *Dubliners' Dozen* (2004)に至るまでの *Dubliners* を中心的に扱った単著はもちろんのこと、日本国内の論文、さらには *JJQ* や *MFS* の最新論文を、参加者それぞれが持ち寄って紹介し議題に載せることで、各作品がこれまでどのような経緯で読まれてきたかという批評史の全体像を把握することが可能になっています。

前回(9月22日)の“The Sisters”前半では、非常にシンボリックな冒頭における連作短編としての意義、*Irish Homestead* の初稿との比較、sodomy とオスカー・ワイルドの逮捕、さらには a disappointed man であるフリン神父が教区神父で終わったこととの関係、シングにおける queer とカトリシズムの問題、少年の夢に登場する「灰色の顔」とオリエンタル表象の意義、などなど、1人で読んでいては到底思いつかない読みどころが様々な角度から議論されました。中でも、当時10歳前後の少年がどの時点で語っているのかという語りの視点の問題は、個人的にとっても興味深く思いました。これまでの作品でも、ナラトロジーの問題が多く議論されています。

あとは“The Sisters”の後半(次回12月1日)と“Grace”、“The Dead”を残すのみですが、何と言っても後者2作は分量も多い上に必要となる背景知識も広く、様々な論点があるかと思えます。楽しみです。興味を持たれた方は、是非事務局までご連絡ください。

*Dubliners* 研究会は会員であればどなたでも参加できます(発表等の担当もあり得ますが)。「参加は不確かだがEメールの案内だけは欲しい」という会員のかたは、事務局宛ご一報ください。(吉川)

# 中国四国九州ジョイス研究会発足のお知らせ

このたび、「中国四国九州ジョイス研究会」を立ち上げ、第1回研究会を下記の要領で開催することになりましたので、ここにご案内申し上げます。

本会では、*A Portrait of the Artist as a Young Man* を精読しつつ、先行研究の一覧表（書誌）の作成や、文献解題も行っていきます。『肖像』読了後は、*Stephen Hero* などの関連テキストを読んでいく予定です。このような作業を経て、『肖像』を新たに読み直す視点を得ることができればと考えております。

本会は、その名称に明らかなように、中国・四国・九州地方に在住のジョイス研究者有志によって設立されるものです。しかし、当然のことながら、これら3地域以外の地域に在住されている方々のご参加を排除するものではありません。むしろメンバーの拡大は大歓迎ですので、ご関心をお持ちの方は、是非ご一報ください。

研究会は、今後、3ヶ月に1回の頻度で、中国・四国・九州を巡回する形で開催される予定です。

## ・第1回実施要領

### 【日時】

11月24日（土） 14:30-17:30 （18:00～懇親会）

### 【場所】

県立広島大学 広島キャンパス 1182教室

アクセス：[http://www.pu-hiroshima.ac.jp/05\\_campus/08\\_access/index.html](http://www.pu-hiroshima.ac.jp/05_campus/08_access/index.html)

### 【対象テキスト】

*A Portrait of the Artist as a Young Man*, 第1章セクションCまで

\*詳細は日本ジェイムズ・ジョイス協会事務局までお問い合わせください。  
追って担当者よりご連絡いたします。

住所変更をされて  
この Newsletter が  
転送で届いた方  
は、お手数ですが  
右記事務局宛にお  
知らせください。  
(e-mail 可)



## 事務局情報

### 日本ジェイムズ・ジョイス協会 事務局

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学教育学部

吉川信研究室内

メールアドレス: sean\_jjsj\_since08june(at)ybb.ne.jp

ゆうちょ銀行 口座番号: 記号 10430 番号 1854541

(名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会)